

目的	活動内容	実施結果
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">受検促進</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">正しい知識普及</p>	<p>◀ 肝炎デーに合わせた街頭啓発 ▶</p> <p>● R6年度は厚生労働省「知って、肝炎プロジェクト」に参加し、株式会社良品計画、広島大学病院との連携イベントを実施したが、R7年度は規模を縮小し、県、(株)良品計画と広島大学病院等の関係者と連携し実施した。</p> <p>【実施概要】 (株)良品計画との協定を活用した、街頭啓発活動及び無料肝炎ウイルス検査等を実施した。</p> <p>日時：令和7年8月2日(土) 場所：無印良品広島アルパーク(広島市西区) まちの保健室及びOpen MUJI</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肝臓病に関するセミナーの開催 (場所：まちの保健室) ・ 肝炎ウイルス検査等の実施 (場所：アルパーク検診クリニック) ・ 啓発グッズの配布 (場所：無印良品敷地内) ・ 肝炎認知度アンケート調査【新】 <p>【協力団体・協力者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学 ・ 広島大学病院 ・ 全国B型肝炎訴訟広島原告団・弁護士 ・ ひろしま肝疾患コーディネーター ・ アルパーク検診クリニック ・ 広島県産業保健総合支援センター ・ 広島国際大学 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>○ 肝臓病に関するセミナー(担当：広島大学病院) (参加者) 20人</p> <p>○ 無料肝炎ウイルス検査等の実施 (受検者) R7年度：25人 (R6年度：69人)</p> <p>○ 啓発グッズの配布 (配布数) R7年度：200部(啓発グッズセット) ラリー景品200セット 丸うちわ 300枚 啓発チラシ300枚 R6年度：1,000枚(丸うちわ)</p> <p>○ アンケート実施回収：50人 [主なアンケート結果] ・ 正しい知識の認知度(一般) 33.9% ・ 正しい知識の認知度(偏見差別) 25.0%</p> <p>○ 肝炎に関するクイズを用いたスタンプラリー (参加者) R7年度：77人 (R6年度：115人) ラリー用紙200枚配布</p> <p>○ 肝炎訴訟相談ブース(担当：弁護士、肝疾患Co)</p> <p>○ 関連書籍の展示(担当：全国B型肝炎訴訟広島原告団)</p> <p>○ がん検診の啓発セミナー、啓発ブース (担当：健康づくり推進課、健康危機管理課、広島国際大学)</p>

目的	活動内容	実施結果
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">受検促進</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">コーディネーター支援</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">受診促進</p>	<p>≪肝炎対策に係る情報交換会（東部）≫ 【新】</p> <p>・東部地域は肝炎ウイルス陽性者が多い地域であり、肝炎ウイルス検査の受検勧奨、医療機関への受診勧奨、正しい知識の普及啓発等を行い、早期発見、早期治療につなげ重症化予防する必要がある。 県保健所、市町肝炎対策担当者 と肝疾患コーディネーターが連携し、一体となって肝炎対策を行うため、東部地域の肝炎対策担当者、拠点病院の肝疾患相談室の特任肝疾患コーディネータ、県薬務課によるヒアリングおよび情報交換会を実施した。</p> <p>実施日 : 令和7年5月15日（木） 実施場所 : 東部保健所 ヒアリング内容 ・肝炎対策事業、事業実施における課題等 情報共有内容 ・市町や医療機関の取り組み ・肝炎対策おける課題</p>	<p>・参加者 東部保健所5名、三原市1名、尾道市2名、世羅町1名 広島大学病院1名、福山市民病院1名 薬務課3名</p> <p>（今後の連携活動について） ・東部保健所、管内市町が連携し、来年度、普及啓発事業を実施する予定 ・研修会や啓発活動を行政と拠点病院が連携し実施することを検討する。</p>
	<p>≪県市町肝炎対策担当者会議≫ 【拡充】</p> <p>・県薬務課主催で実施し、肝炎対策に係る報告、情報共有を行う。 （内容） ・制度説明、制度事項の周知 ・肝炎対策の普及啓発活動実績 ・他職種間の事例共有 等</p> <p>（第1回） ・実施日：令和7年5月20日（火）（WEB開催） ・参加者：各県市町担当者、広島大学病院 福山市民病院、薬務課</p> <p>（第2回） ・実施日：令和8年3月3日（火）（WEB開催）※予定 ・参加者：各県市町担当者 肝疾患コーディネーター、薬務課</p>	<p>（第1回会議） ・参加者 県立7保健所（支所）、19市町の肝炎対策担当者 特任肝疾患コーディネータ（拠点病院）</p> <p>（第2回会議） ・参加者：調整中</p>

目的	活動内容	実施結果
受 検 促 進 コー ディ ネー ター 支 援 受 診 促 進	<p>《高齢者施設における講習会》【新】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設の開設者等に対し、介護従事者等のコーディネーター就任や、肝炎ウイルス検査未受検者が検査を受けやすい環境整備への協力を依頼 ①広島県老人福祉施設連盟総会において、ひろしま肝疾患コーディネーター養成講座の案内と肝炎対策の必要性について、周知した。 ②広島市の高齢者施設に対して、ひろしま肝疾患コーディネーター養成講座の開催について周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひろしま肝疾患コーディネーター新規養成者数（令和7年度） 高齢者施設関係者6名（全体171名） （参考）令和R6年度高齢者施設関係者の養成者数：2名
	<p>《特任コーディネーターによる資材作成》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会において、コーディネーターが普及啓発活動で効果的な活動ができる啓発資材を作成し、啓発活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動のための資材の申込者：62名（病院・行政・その他） ○配布先：所属する施設（病院・行政。その他） ○配布数：約3,500枚 ○活動内容：患者・家族への配布 イベント時の来場者へ配布 ○参加者アンケート結果：配布時に受検勧奨ができ、受検が行われた。 啓発活動を通じ、コーディネーター以外の関係者の知識・意識の向上につながった。
	<p>《肝がん重度肝硬変医療費助成制度説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県薬務課が医療機関を個別に訪問し、肝疾患に関連する職員（医師、看護師、医療事務担当等）に対して、医療費助成制度の説明、対象患者の拾い上げを依頼した。 （訪問施設） ・安佐市民病院 ・福山市民病院 ・呉医療センター（予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者 安佐市民病院：14名（医師、看護師等12名） 福山市民病院：6名（看護師等） ○参加者アンケート結果 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関関係者の制度の理解が進んだ。 ・医療機関内での連携が深まり、患者の拾い上げに繋がった。 （参考） <ul style="list-style-type: none"> ・肝がん・重度肝硬変医療費助成件数 令和7年度：244件（R7.12末現在：広島県収受分外来医療償還払件数） 令和6年度：241件
	<p>《呉市肝疾患連携セミナー》 共催：アッヴィ合同会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉医療圏の医師やメディカルスタッフを対象に、肝炎検査・制度について説明した。 <p>実施日：令和7年11月12日（木） 対象者：呉医療圏の医師、メディカルスタッフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者：呉医療圏の医師、コメディカルスタッフ 37名（会場12名、WEB25名）

目的		活動内容	実施結果	
受 検 促 進	コーディネーター支援	<p>受診促進</p> <p>＜職域におけるセミナー＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県産業保健総合支援センターと連携し、企業の人事・労務担当者や産業医等に対して、コーディネーター就任や自社定期健診への肝炎ウイルス検査の追加を促すためのセミナーを実施 実施日：令和7年7月30日（水） （実施内容） ・肝炎における治療と仕事の両立支援（広島大学病院） ・治療と仕事の両立支援における広島産業保健総合支援センターの支援内容（広島産業保健センター） ・ひろしま肝炎コーディネーターについて（薬務課） ・アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者：54名（産業医53名、その他1名） （参考）令和6年度参加者は20名（人事労務担当者等） ○主なアンケート結果（回収率67.9%） <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま肝炎Coを知らないと回答した者：61.1% ・産業医における肝炎ウイルスに関する正しい知識の認知度（差別・偏見）：69.4% 	
	正しい知識の普及	人権啓発	<p>＜マツダスタジアムにおける街頭啓発＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合開始前の待ち時間に肝炎クイズを実施し、効果的に正しい知識の普及を図る。 <p>実施日：令和7年7月17日（木）15時00分～18:00 実施内容：肝炎クイズ（正しい知識の認知度） 啓発資材の配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者：肝炎クイズ参加者：131名 ○クイズ（肝炎ウイルスに関する正しい知識の認知度） クイズ正解率：全問（3問）正解率38.2% （参考） R6年度：肝炎クイズ参加者94名 クイズ正解率：全問（3問）正解38.3%
		人権啓発	<p>＜県・市町による広報・学校教育＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報事例の共有により、市町広報誌やホームページでの肝臓週間の広報の促進を図る。 ・人権週間等における活動を実施した。 ・教育委員会等の関係各所と連携し、学びの機会の増加を図った。 講師：全国B型肝炎訴訟広島原告団 ・県立広島大学 日時：令和7年11月9日 ・県立三次看護専門学校 令和8年3月（調整中） 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報事例の共有：令和8年3月開催の県市町担当者会議でとりまとめて共有する。 ○広島県発行「人権だより（令和7年度版）」に「B型肝炎いのちの教育」についてを掲載 ・配布先：各市町図書館 各学校（小・中・高・大学・専門学校） 計21,000部配布 ○学びの機会の確保 県立広島大学：保健福祉学部保健福祉学科看護学コース2年生 60名

令和8年度に実施する普及啓発活動について

- 県民アンケートにおいて、肝炎ウイルス検査を受けたことがある者の割合や肝炎ウイルスに関する正しい知識の認知度が継続して低下していることなどを踏まえて、これまでの普及啓発活動全般について、広報の専門家からのアドバイスを受けながら振り返りを行った上で、より効果的な普及啓発活動を検討し、実施する。